

筑後市地域自立支援協議会

相談支援部会

令和6年度 全3回



①報酬改正等の確認及び事業所のつながりの強化



グループワークで検討した項目

- ・R6年度の報酬改定の内容の確認
- ・ケースの対応方法や疑問点を**今！聞きたい**
- ・事業所の特色を一覧にして**見える化**したい
- ・事業所の加算の取得状況
- ・各相談支援事業所の担当件数とモニタリング月設定の方法
- ・**人員不足**の課題に対する対応、**業務の簡素化**、土日や時間外の訪問をどうしているか



結果：

関係機関との連携の方法や訪問を拒否する家庭への対応の方法などそれぞれが取り組んでいる内容を共有することが出来ました。
LINEを活用し各事業所内で開催している研修への呼びかけや、今聞きたい事をタイムリーに相談する環境を整えることが出来ました。

②「計画立案のための利用者アセスメントについて学ぶ」

本人の希望に対して「どのようなアセスメントをして支援につなげるか」をテーマに、実際の事例をもとにグループワークを開催しました。



経験年数に応じてグループをわけました

参加者の声：

必要な福祉サービスは何か、見極めを行っていくことが重要だと思いました。

本人の支援をする人や保護者の希望ばかりに視点がいないか振り返りが必要だと感じました。

相談支援専門員は実に細やかな視点を豊富に持っていることがわかりました。

みんなで考えると、一人で考えても出てこないような視点・発想が生まれ、学びになりました。

サービスの導入の目的が何なのか、ゴール設定をどうするか、多くのことを事例検討を通じて考えることができました。

③介護支援専門員と意見交換

障害福祉サービスから介護保険サービスに移行した際、ケアマネジャーが疑問に思ったこと、不安になったことがあるとの意見があり、どのようなことをお互い確認すればよいか、グループワークで意見を出し合いました。

参加者の声：

介護保険制度の概要や仕組みを勉強したいと思いました。相談できる**顔見知りのケアマネジャー**ができ、良い機会になりました。

家族に障害があるのでは、と思う家庭があってもどこに相談して良いか迷うこともありました。今回、**新たに知識を得られた**ことで支援につなげられそうです。
相談支援専門員、ケアマネジャーの連携が必要だと感じました。

【1年間のまとめ】

障害福祉サービスと介護保険サービスを併用利用している方の手続きに不備がでないよう、手続き方法の見直しについて**福祉課へ提案**することができました。アセスメントの研修では、**チームで考える**ことの重要性を学びました。

日頃から
交流しま
しょう



介護保険
サービス

連携が
大事



障害福祉
サービス